

Local Area News

救命救急講習会

赤帽群馬県軽自動車運送(協)

赤帽群馬県軽自動車運送協同組合(赤間美代子理事長、組合員130人)では、8月27日に前橋利根分署、9月3日に太田市東部消防署において、それぞれ「救命救急講習会」を開催した。

本講習会は、時間の経過とともに命が助かる確率が低くなるため、救命処置の知識の重要性を捉え、毎年開催しているもの。

講習会ではまず、救命処置の必要性や対処法などについてのビデオを鑑賞。その後、マネキンを使っ

て「胸骨圧迫」、「人工呼吸」、「AEDの使用」等を体験した。最後に、本講習会を以前に受講し、実際に救命措置を行った経験を持つ組合員が自身の体験談を参加者に伝え締めくくった。



胸骨圧迫を体験

耐震相談会開催

(協)群馬県木造住宅研究会

協同組合群馬県木造住宅研究会(川合進理事長、組合員7人)では、9月1日・2日の両日、前橋市・前橋市総合福祉会館にて、木造住宅の「耐震相談会」を開催した。大規模な地震に備えて住宅の耐震化が急務である中、一般社団法人

群馬県建築士事務所協会が、高崎市、安中市、前橋市の県内の3会場で、「耐震説明会・相談会」を開催するの併せ、同組合は前橋会場において、施工業者の立場から、耐震補強方法やリフォームのアドバイスを行った。

様々な施工方法がある中、相談者の家族構成や将来設計を踏まえて、費用や工期、耐震改修費に対する補助金制度の活用など、親身になって具体的な耐震改修の助言をした。

改修技術の進歩で、住みながらの工事も可能となっており、特に昭和56年以前に建てられた木造住宅については、耐震化による補強の必要性が高いため、まずは、市町村による無料の耐震診断の受診がお勧めという。



的確なアドバイスを行う組合員

「海外の販路開拓」を目指して商品開発

桐生織物(協)

桐生織物協同組合(牛腸章理事長、組合員114人)では、桐生織物(工)主体の国の「JAPANブランド育成支援事業」に協力し、産地ブランドの構築に向け、組合員が連携しバッグを創作した。創作したバッグは商品化を目指し、海外や国内の各種展示会にも出展している。

今後はバッグ以外の創作も視野に入れるなど、「新たなもづくり」への挑戦を計画している。



桐生織物記念館で展示されたバッグ23点

LAW

宮城県との交流会

群馬県塗装看板協同組合(協)

群馬県塗装看板協同組合(中嶋薫理事長、98人)では、9月14日、中嶋理事長と前田圭一専務理事の2人が、宮城県仙台市・宮城県行政庁舎において、宮城県塗装業組合連合会との交流会を開催した。

まず、宮城県の副会長である松本尚己氏と渡辺幸一氏より、震災から5年経った県内の状況等の説明を受けた。両氏は、既に仙台市内は震災前と変わらない復興状況であるが、石巻・南三陸等はまだ50%にも達していない地域もある

と述べた。

また、組合・組合員の活動内容等の情報交換等を行うとともに、復興見舞金を手渡し、両県の組合関係者にとって有意義な交流会となった。



左より松本氏、渡辺氏、中嶋氏、前田氏

コミュニケーション・セミナー

ぐんまみらい(信)

ぐんまみらい信用組合(神博理事長、組合員86,087人)では、9月15日、高崎市・ニューサンプリア高崎において、有限会社志縁塾代表取締役・大谷由里子氏を講師に「職場の風通しを良くする」笑うコミュニケーション・セミナーを開催。210人が参加し、明るい職場環境のために必要なことを学んだ。

大谷氏は、コミュニケーション

の基礎には、「き(季節)・ど(道楽)・に(ニュース)・た(旅)・ち(知人)・か(家族)・け(健康)・し(仕事)・衣食住」があると解説し、ポイントは、相手との共通点を見つけ、相手の立場に立つて話することだと述べた。

講習会では、大谷氏がコミュニケーションの技法を説明し、隣席の人と実際にコミュニケーションの練習を行った。



210人が参加した研修会場

「人の扱い方」講習会開催 桐生中小企業福祉事業(協)

桐生中小企業福祉事業協同組合(日野昇理事長、組合員203人)では、9月24日・10月1日の両日、桐生市・同組合内にて、現場監督者

を対象とした「人の扱い方」講習会

を開催した。講師は、株式会社オフィス・アドバンの長澤博司氏。

長澤氏は、仕事は個人差・バラツキが生じるので、チームワークで取り組むことが大切で、人と人の関係を円滑にすることが求められると説明。その上で、人と人の関係から問題が発生した際の有効な手法として「4段階法」を紹介。ポイントは、最初の段階で事実をしっかりと掴み、早合点することを防ぐことだと強調した。

参加者は、職場内で発生している様々な問題を提示。事実確認を行ったための質問の仕方や問題の解決方法について学んだ。また、一般的な事例として「女子監督者の問題」「古参者の問題」「安全ルールに従わない職員」についての対処方法についても学んだ。



様々な事例演習を行った研修